

6月13日（月）～15日（水）の間、中学2年生がクラス単位で2班に分かれ、各班1泊2日の**理科実習**を行いました。

理科実習とは、和歌山市加太湾で水生生物を採集・観察し、徹底した実験を行なう探究活動で、この地で始めてから**30年以上経つ本校の伝統的な名物行事**です。

学校から持ち込んだ実験器具を使い器官の細部まで調べ上げ、レポートにまとめるこの行事は、医学部に進学した卒業生たちからも、大学で解剖する際「中学の理科実習を思い出す」という声がとても多く聞かれほど、本格的な実験を行なっています。

【研究テーマの一例】

アメフラシの分布、ウニの人工授精と初期発生を観察、マツバガイのイボニシ撃退法の観察、イソギンチャクの種類や大きさと分布 など

